

HOT TOPICS

01 “「きずな」打ち上げ応援
アニメーションを創ろう!”を実施

2008年1月24日～2月15日、超高速インターネット衛星「きずな」打ち上げを応援するアニメーションの創作コンテストが行われました。これは、NTTが運営するお絵描きコミュニケーションサイト「うごごブログ」を使って、「きずなちゃん」とJAXAクラブのキャラクター「ジャクマくん」を素材にして、「きずな」打ち上げの応援アニメーションを募集するものです。「うごごブログ」は、一般の方でも簡単にアニメーションが創作できる点が幅広い年代層に人気のサイトで、募集期間中、たくさんの応募作品が寄せられました。数々の力作の中から、栄えある【きずなちゃん賞】グランプリはのんのんすうさんの「想いを届けて」、準グランプリは、マニーさんの「夢の架け橋」に決定しました!

くわしくは

<http://www.satnavi.jaxa.jp/project/winds/>02 技術試験衛星Ⅷ型「きく8号」が、
鹿児島で通信実験を実施

2008年1月11日(金)、鹿児島市で行われた「桜島火山爆発総合防災訓練」に参加し、技術試験衛星Ⅷ型「きく8号」の通信実験を行ないました。桜島の大噴火と大地震を想定した防災訓練では、避難住民がICタグを首に下げて集合した赤生原港において、係員が実験用端末で各自のタグから読み取った避難情報を、「きく8号」経由で対策本部のある鹿児島駅会場に送信しました。また「きく8号」を介して、住民のけがの



ICタグから取得した避難情報は「きく8号」を介し対策本部へ。



のんのんすうさん作
「想いを届けて」

グランプリ

選定理由：
世界の人々がきずなちゃんを通して
心を通わせるという表現が、「きずな」
という愛称にもふさわしい作品。



マニーさん作
「夢の架け橋」

準
グランプリ

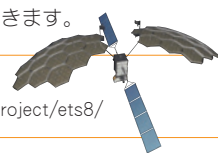
選定理由：
人と人をつなぐ架け橋となる「きずな」
への応援に、明るさと力強さを感じ
られる楽しい作品。



ウェアラブルカメラで撮影した被災地の映像は、「きく8号」経由で対策本部へリアルタイムで送られ、正確な状況把握に利用されます。

程度を把握したり、ウェアラブルカメラで撮影した被災地の映像を中継して、最新の状況を対策本部に伝送しました。今回の防災訓練での反省や結果を反映して、「きく8号」の技術が、私たちの暮らしに役立つよう、今後も実験を行なっています。

くわしくは

<http://www.satnavi.jaxa.jp/project/ets8/>「きずな」
打ち上げ
レポート

23日 03:30
機体を射場に移動



23日 16:20
打ち上げの日の天気はくもり、強風

2008年2月23日17時55分、種子島宇宙センターからH-IIAロケット14号機によって打ち上げられた超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)。この「きずな」という愛称は、応募総数9,657件の中で、一番多くの方にご提案いただき、人と人をつなぐ“絆”となってほしいという強い期待が込められた愛称です。今回は、「きずな」の名づけ親の中から抽選で選ばれた竹中さん親子が、「きずな」の打ち上げを見学されました。



旗も真横になひくほどの強風



23日 17:55
H-IIA14号機 打ち上げの瞬間



23日 17:53
打ち上げを待つ取材陣 緊張感が高まる



「きずな」打ち上げの迫りに感動!

「きずな」名づけ親代表 竹中さん親子

今回の打ち上げに来させてもらい、貴重な体験ができました。打ち上げ直前はとても興奮していました。・・・「3」「2」「1」「0」「リフトオフ!」父さんがつけた名前の衛星が飛んでいる。それを見ることができたんだ。28分3秒後の衛星分離が、確認されたときに胸にこみあげてきた感動。今度はこの感動をほかの人に伝えよう。JAXAに入ろうと思いました。

超高速インターネット衛星「きずな」とは

超高速インターネット衛星「きずな」は、いつでも、どこでも、誰でも、必要な情報が得られる社会をめざし、超高速な衛星通信技術の実証を目的としています。5mの地上アンテナでの送受信で世界最高速の1.2Gbps、45cmの小型地上アンテナでも受信155Mbps、送信6Mbpsの通信を可能にしま

す。また、日本を含むアジア太平洋地域(地球の3分の1の範囲)でも、超高速通信を行える機能を持っています。これら「きずな」によって実証された技術が将来活用されると、離島など通信が不便な地域や災害時でも快適な通信が可能になります。